

建設業振興基金

ニーズ把握へ7月 から全国キャラバン

中期経営方針を策定

キャラバン2012」と銘打ち、7月下旬から10月にかけて全国各地への訪問活動を展開する。得られた成果は13年度からの事業計画に反映していく考えだ。

この中期経営方針は、11年7月に発表した経営改革プロジェクト「変化と挑戦2012プロジェクト」(Change & Challenge 2012)の方向性を明確化したもの。業務執行と組織運営という二つの側面から、今後実施すべき取り組みを示した。

建設業振興基金(内田俊一理事長)は、2012年度から16年度の5年間を計画期間とする中期経営方針を策定した。本年4月の一般財団法人化を契機に、従来の業務執行や組織運営を抜本的に見直す方針を打ち出した。まずは顧客である建設関係団体や建設企業などのニーズを把握するため、「お役立ち度UP」

▽新分野に取り組む建設産業団体・事業協同組合に対する債務保証・金利助成の検討▽災害時の復旧・復興ニーズに対する債務保証制度の検討▽中小経営者向け研修の充実▽工業高校生などを対象とした建設業経理事務士特別研修の実施▽技術検定試験での受験者の利便性向上▽富士教育訓練センターの活用促進などを盛り込んだ。

組織運営の見直しに当たっては、筋肉質で強い経営基盤づくりに向けて、今後5年間に収支を均衡させる目標を設定し、予算管理の徹底などに取り組むこととした。建設産業の構造改善に役立つ新たな事業の創出も検討する。国に対しては、建設産業のニーズを踏まえ施策を積極的に提言していく考えだ。

前年同月比30・2%減

TDBⅡ6月の建設業倒産

帝国データバンクは、6月の全国企業倒産集計結果をまとめた。それに伴って、建設業の倒産件数は前年同月を下回った。

産業全体の倒産件数は、前年同月比12・6%減の896件、負債総額は7・9%減の1776億2000万円。主因別では、販売不振・業界不振など「不況型倒産」が11・1%減の769件となった。

創立50周年で 式典開く

河本総合防災



河本総合防災(相模原市・河本俊二社長)は20日、東京都内で創立50周年記念式典・祝賀会を開いた。

「50周年という記念すべき今期の決算は、過去最高の年商30億円を達成し、高い目標を超えることができた。この機を捉え、原点に立ち返って新たなスタートとしたい。心

のこもった防災」を念頭に、今後は100年企業を目指し、社員一丸となって事業を継承していきたい。

また、記念講演では池川クリニック院長の池川明氏が登壇し、「一億分の1の奇跡☆不思議な体内記憶の世界」と題し講演した。

たい」とあいさつ、関係各社へ一層の協力を求めた。

式典では、主要取引先への代表者に対し感謝状を手渡したほか、特別功労者や永年勤続者を表彰した。

旭土木安全協議会(河野裕規会長)は20日、横浜市旭土木事務所と合同で第1回旭土木安全協議会を開き、熱中症対策などの講習会と現場安全パトロールを実施した。写真。

旭土木安協

安パトを実施

害や重大災害の発生を未然に防ぐため、各現場の安全を確保する。尾寛旭土木施設の維持管理、市民重要な事業の信頼性につながる。民のより安全を呼び掛ける。会では、技術監理課対策や、上半期の市計画道路線(本宿街路整備など)の資機材の設階段の行者通路確認した。

戸田建設 ソフトファースト ストリー採用

京橋のビルで

戸田建設は、東京都中央区に建設中の京橋イーストビル新築工事で、同社で初めてソフトファーストストリー制振構造を採用した。

ソフトファーストストリー制振構造は、建物



の下層階を意図的に変形させ、そこに集中的に制振ダンパーを配置することで、エネルギーを吸収する形式。上層階への制振装置の配置が不要になることから、平面計画の自由度が増し、特にテナントオフィスビルでは、床面積に占める収益部分の面積比率(有効レントラブル比)が向上できる。

今回の工事では、1階部分に最大減衰力1500kNのオイルダンパーを4台設置。設計段階で行ったシミュレーション解析によると、各階にオイルダンパーを設ける従来の制振構造形式と比べ、オイルダンパーの数が約5分の1に低減でき

る。また、地震時の建物の挙動が免震構造的な動きとなり、上層階に生じる加速度を低減させる効果や、「あと揺れ」の低減効果も確認できたという。

戸田建設では、今後、コストを抑えながら、高い構造的・収益性が要求される事務所ビルを中心に、ソフトファーストストリー制振構造を積極的に提案していく。

やんべ夜市に参加

県建築士会 青年委

神奈川県建築士会・青年委員会(金子成司委員長)は14日、厚木市内で開かれた「やんべ夜市」で、起震車を使った防災イベントを実施。地域住

